

高齢肺炎入院患者に対するオステオパシーマニピュレーション治療の有益性

DR Noll, JH Shores, RG Gamber, KM Herron, J Swift Jr.

Journal of the American Osteopathic Association, Dec. 2000, vol.100, 776-782.

抄録

オステオパシーマニピュレーション治療(OMT)は肺炎を患う患者にとって有益であろうと考えられていたが、これまでそれを実証する臨床試験、特に高齢者におけるものはほとんどなかった。著者のパイロット研究において、経静脈抗生物質の使用ならびに入院期間は信頼たるアウトカム評価であることが示唆された。したがって、より大規模なランダムコントロール試験が行われた。急性肺炎で入院した高齢患者がリクルートされ、ランダムに2つのグループへ分けられた：28人が治療グループ、30人がコントロールグループ。治療グループは規定のOMTプロトコルを受け、一方コントロールグループは軽い接触のプロトコルを受けた。年齢、性別、簡易急性生理学的スコアはグループ間において統計的有意差はなかった。治療グループは有意に経静脈抗生物質治療期間ならびに入院期間の短縮を示した。

原論文

Benefits of osteopathic manipulative treatment for hospitalized elderly patients with pneumonia

DR Noll, JH Shores, RG Gamber, KM Herron, J Swift Jr.

Journal of the American Osteopathic Association, Dec. 2000, vol.100, 776-782.

翻訳者 江熊省吾 Bsc.(Hons.)Ost.Med. D.O.(UK), MRO(J)

